

えずこホール イベント案内

Mr.バンクの魔法のガラクタ
～石・棒・折れた骨～



チケット発売中!!

世界のフェスティバルで大絶賛。想像性豊かな構成と影絵劇へのユニークなアプローチで注目を集めているバンクパペッツがえずこホールにやってきます。子どもから大人まで誰もが楽しめる抱腹絶倒のパフォーマンス。身の回りのものを使って作り出す、人気沸騰の影絵人形劇をお楽しみに!

7/21[金] 22[土]
① 19:00開演 ② 14:00開演
③ 18:00開演

平土園ホール
TICKET 全席指定
一般 2,500円 U-24 1,250円
※4歳未満のお子さまは保護者の膝上に限り入場無料

えずこ ウィンドアンサンブル
チャリティコンサート19th



7/2[日] 14:00開演
大ホール 入場無料
予定曲目
ベルシス、美女と野獣、他

みんなあいてよ
えずこひろば
～親子で楽しむ遊びの場所～

7/12[水] 10:00～12:00
参加：無料
会場：ホワイエ
(出入り自由/申し込みの必要はありません)

お問い合わせ TEL 0224-52-3004
info@ezuko.com
URL http://www.ezuko.com/
えずこホール
仙南芸術文化センター
〒989-1267 柴田郡大河原町字小島1-1



イラストを描いたハガキに「住所・氏名・ペンネーム」を忘れずに記入してね!

編集者から

先日、今月号の表紙やまちのわだいでも取り上げている「そらまめのさやをむこう」という体験学習の取材で、大河原小学校の2年生の授業にお邪魔しました。

ところで、皆さんはそら豆の名前の由来をご存知ですか? 授業はじめに、大河原町学校給食センターの藤田栄養教諭から同じ質問を受けた児童は、「空から降ってきたから」「雨のしずくみたいだから」「ジャックと豆の木みたいに空に向かって伸びるから」など想像力豊かな答えをたくさん発表していました。正解は「そら豆のさやが空に向かってつくから」なのですが、児童の純粋な答えに心が和みました。(なか)

今月号表紙の大河原小学校そら豆のさやむき体験の写真を見ていると、子どもの頃の思い出がよみがえってきました。

私の祖母は農業を営んでいて、6月のそら豆が旬を迎える時期になると、出荷の手伝いをしていました。さやを枝から切り取り、数本を袋に詰めるという作業を、お小遣い欲しさに一生懸命していたものでした。

大河原小学校の子どもたちが体験した内容とはまた違った体験ですが、今思い返せば農業の一部分を経験できた、貴重な体験だったのだなと感慨深くなりました。(たか)

町内各施設的环境放射線測定結果
(測定日:6/1～6/7 単位:μSv/h)

施設名	測定結果	施設名	測定結果
大河原小学校	0.07	南桜公園	0.07
金ヶ瀬小学校	0.08	東桜公園	0.06
大河原南小学校	0.08	東青川公園	0.08
大河原中学校	0.06	中部1号公園	0.10
金ヶ瀬中学校	0.07	中部3号公園	0.08
桜保育所	0.09	中部5号公園	0.09
上谷児童館	0.09	緑町公園	0.05
金ヶ瀬カトリック保育園	0.07	新古川公園	0.07
第一光の子保育園	0.06	南平公園	0.08
第二光の子保育園	0.08	小島3号公園	0.06
大河原カトリック幼稚園	0.07	広表2号公園	0.06
役場玄関前	0.06	大河原昆虫公園	0.08
中島公園	0.07	一軒地児童遊園	0.08
高砂公園	0.09	上町児童遊園	0.06
山崎公園	0.05	上谷1号児童遊園	0.05
上谷公園	0.05	上谷2号児童遊園	0.06
旭町公園	0.07	上谷3号児童遊園	0.06
見城前公園	0.07	丑越児童遊園	0.06

※使用測定器…● TCS-172(南小・役場・各公園)
● PA-1000(小中学校・保育所・幼稚園等)

中学校・役場玄関前については地上1m、そのほかは地上50cmの高さで測定。(測定の高さについては、身体を中心位置が目安とされ、施設の主な利用者を基準にして設定しています。)

放射線測定結果のおしらせ

水道水の放射性物質測定結果
(測定:東北大学・宮城県 単位:Bq/kg)

採水場所	測定期日	測定結果
南部山浄水場	5/8	不検出
金ヶ瀬揚配水場	5/16	不検出

役場持ち込み食品測定結果
(単位:Bq/kg)

検体名	検査日	栽培(採取)地	検査結果
ウメ(白加賀)	6/7	大河原町	不検出
ウメ(南高)	6/7	大河原町	不検出

わがまち文芸道場

暖音に音を重ねし霞雀
観音の背のびしている植田風
ゲルニカの壁に炎暑の祈りあり
オクラ切る緑の星を散らしけり
母好むバラの盛りの日に生まれ
行々子川面の光り揺れ止まず
蚕豆の味少年の恋の味
手品師の二の腕白き棕櫚団扇
またたびの花の匂いや昭子亡し
初夏や八百年の杉の風
一本は妻へと手折る額の花
贅沢にさやえんどうを炒めをり
退院の踏み出す一歩新樹光
蝸牛ののちの傘をさして行く

吾妻 文子
石垣テル子
伊澤二三子
及川美沙子
大久保和子
日下 節子
鈴木 純子
中野西範子
永野 シン
藤原 恪子
三塚 直樹
山家美智子
遊佐 徹
浪山 克彦

【大河原俳句会】

町民の声 おたより
ご紹介

○「大河原町文化財友の会」
研修旅行に参加

近所のかたの誘いで、大河原町文化財友の会が主催する「新緑の宮城路・仙台日帰りの旅」に参加した。

旅行日5月18日は快晴。遠足気分の方は集合時間より20分早く集合場所の役場へ到着。政宗の凛々しい騎馬姿がペイントされた大型バスに乗り込むと、車内は既に大半着座状況。予定を早めたの出発となった。参加者は36名。うち男性が9名と女性が圧倒的に多かった。隣席のかたも初参加で知り合い。すつかり遠足気分になると、車内では配布された資料を基に講義が始まり、これは単なるバス旅行でないと感じた。10数ページにおよぶ資料には、見学する政宗公菩提寺の瑞巖寺、政宗公創建の大崎八幡神社、政宗公居城の仙台城跡、政宗公廟所の瑞鳳殿に関する予備知識や、政宗の国づくり戦略と功績および人物像などがびつしりまとめられていた。その後、各所を順次訪れ、さらにガイドさんの懇切丁寧な説明を受けた。お蔭で初めて知ることが多く非常に勉強になりました。伊達藩政宗公が手掛けた数々の建造物は、桃山文化の華として国宝や文化財として大事に保存され復元され、これが足元に存在していることを知らされました。

晴耕雨読の日々から久々の日帰り旅行。今回の研修旅行は有意義な日となりました。
佐藤栄二さん(幸町区)